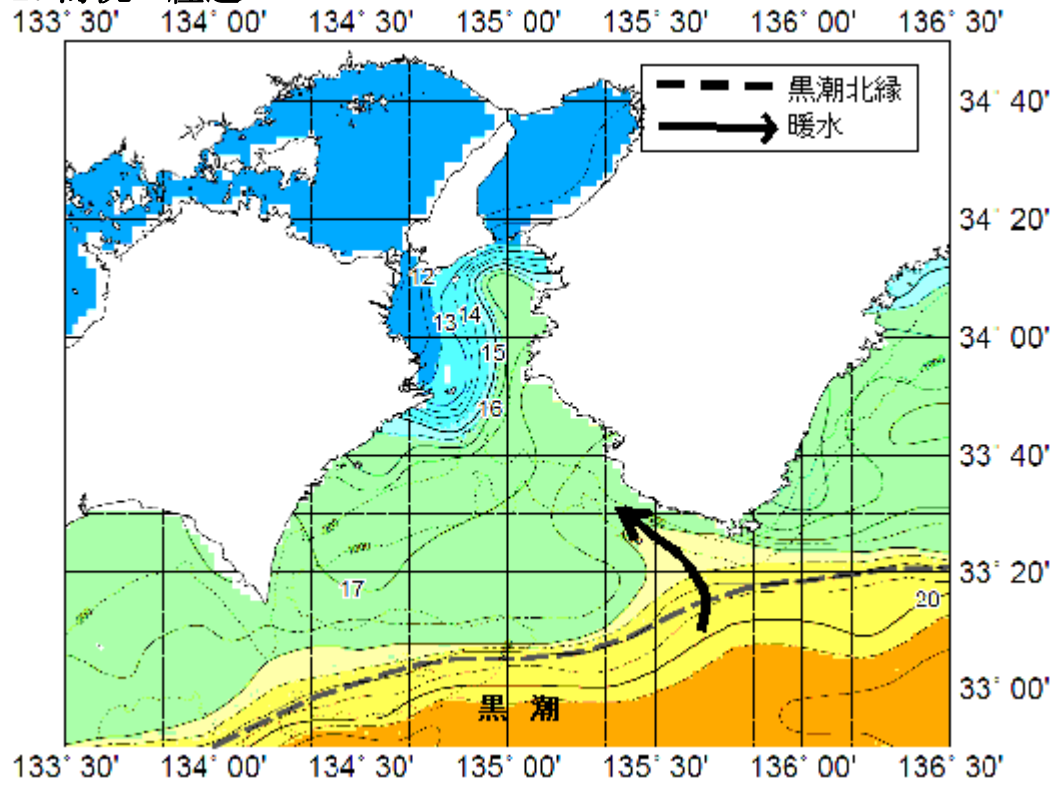


### 1. 海況の経過

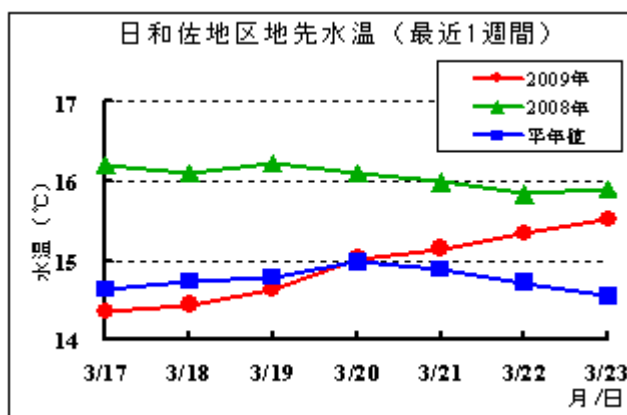
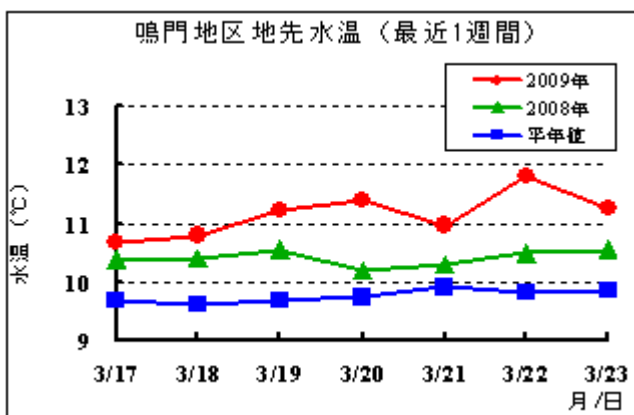


### 海況

上に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県および和歌山県が共同で作成した海況図(H21.3.23)を示した。  
 黒潮は、室戸岬沖でやや離岸、潮岬沖で接岸している。室戸岬以西の黒潮は、足摺岬沖、都井岬沖でやや離岸している。  
 黒潮本流の表面水温は19～21℃台である。  
 表面水温は播磨灘が11℃台、紀伊水道が11～15℃台、外域が13～17℃台である。  
 紀伊水道外域では、和歌山県側から暖水が流入し、一部は紀伊水道内に達している。紀伊水道内は、暖水の波及を受け、中央部に内海水との潮境が形成されている。

### 地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや高め」～「高め」の10.7～11.8℃、日和佐地区は「平年並み」～「やや高め」の14.3～15.5℃、牟岐地区は「やや低め」～「高め」の13.6～16.9℃で推移した。



### 2. 漁況の経過

**小型定置網:**海部沿岸で、大主体にアオリイカが0.6トン(1日1隻当たり15kg)、ウルメイワシが0.4トン(同16kg)、カタクチイワシが4.5トン(同266kg)、キビナゴが0.4トン(同28kg)、マイワシが0.8トン(同54kg)水揚げされた。

**大型定置網:**海部沿岸で、大主体にアオリイカが0.4トン(同79kg)、大主体にイサキが0.3トン(同39kg)、小主体にスルメイカが0.2トン(同30kg)、メジロが0.3トン(同30kg)水揚げされた。

**釣り:**海部沿岸で、大主体にタチウオが1.6トン(同91kg)、大主体にメジロが1.0トン(同33kg)、紀伊水道で特大主体にタチウオが3.9トン(同139kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋) 3月16日～3月22日 県下7漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
小型定置網		アオリイカ	42	613	15	大主体
		ウルメイワシ	24	378	16	
		カタクチイワシ	17	4,526	266	
		キビナゴ	15	419	28	
		マイワシ	14	760	54	
大型定置網	海部沿岸	アオリイカ	5	397	79	大主体
		イサキ	7	273	39	大主体
		スルメイカ	7	211	30	小主体
		メジロ	9	272	30	
釣り		タチウオ	17	1,551	91	大主体
		メジロ	29	963	33	大主体
		紀伊水道	タチウオ	28	3,898	139

週間予報:

黒潮は、室戸岬と潮岬でやや離岸で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「やや高め」の11℃台、日和佐地先で「平年並み」の15℃台で推移する見込み。

他県情報:

和歌山県のひき縄釣りで、カツオが36.3トン(1日1隻あたり27kg)、キハダが3.4トン(同3kg)、ビンナガが6.5トン(同5kg)、定置網で、ブリが34.5トン(同2.9トン)、ワラサが0.6トン(同54kg)、マアジが5.2トン(同432kg)、釣りでスルメが、0.3トン(同6kg)、サバが0.6トン(同13kg)、イサキは0.7トン(同15kg)、パッチ網でシラスが0.7トン(同75kg)水揚げされた。

\*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50～1.49, 高め(低め):±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上